



第 8 号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番10号
TEL 022-257-0437

第19回東北六県公共キャンペーン作品展 〈福島・中合デパート〉

平成8年11月7日→11月12日

実力伯仲！トップレベルたちの福島

2年連続・建設大臣賞に(有)マルケイ工芸社〈山形〉さん



東北六県公共キャンペーン作品展

講 評

郡山女子大学短期学部教授

木 幡 幸 子

東北六県公共キャンペーン作品展の審査員を務めさせて頂きましたこと、誠に光栄に存じますと共に、多くのことを学ばせて頂き心から感謝を申し上げます。

展覧会の主旨でもある、屋外広告物としての自然環境保護、景観の美化に肌理細やかな配慮をされた作品群であり、又、その真摯な制作姿勢に心打たれました。

種々の造形処理、多種の素材の活用のもとに先端的テーマ、現実的なテーマ共に、広告目的が明確であったと思います。

三賞の作品について一言申し上げます。

1. 建設大臣賞「急げ防災」

まず第一に、ビジュアルな面で、既成の各社の新聞紙面をバックに

効果的に活用して紙面が多くのごこと、例えば情報を伝えていた。又、キャラクターとして昔から言い伝えられている地震とナマズの「ナマズ」を用い、しかも(非常持出)袋を持たせるなど、大きい問題をユーモラスにアピールしていたこと。

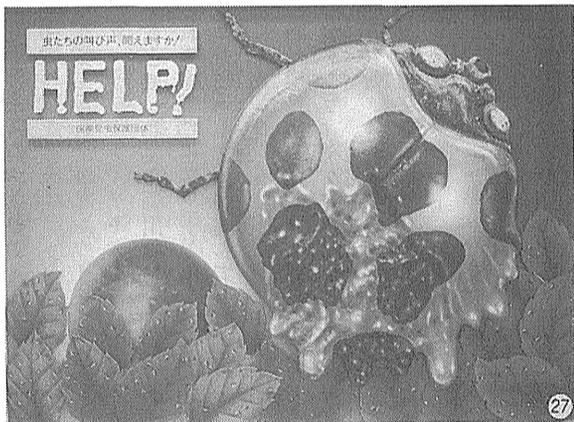
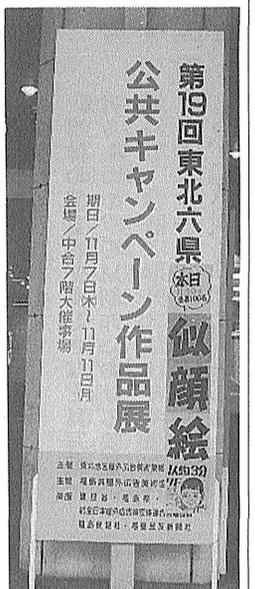
2. 日広連賞「つけようね わが身を守る反射材」

全面をブラックでまとめ、人体を凹凸で処理し、夜間の反射材をネオカラーの蛍光色を用いるなど、色彩効果を考慮しながら、適切な造形処理がなされていた。よく練り上げられた作品である。

3. 地区連会長賞「HELP 虫たちの叫び声聞こえますか」

スペースの中に、大胆にテントウ虫を配し、よくみると、痛々しい虫の姿と、みずみずしい木の葉を対比させて、ダイレクトにメッセージを伝えている。

以上、皆様方の日頃のご活躍に敬意を表しますと共に、今後の益々のご発展を祈念致します。



●地区連会長賞・エムエムデザイン・對馬 勝



●日広連賞・高松工芸・一条八平太



●建設大臣賞・(有)マルケイ工芸社・竹田美樹子

●自社前に屋外ギャラリー開設



山形県の誇りに思う。昨年(株)マルケイ工芸社(竹田さん)を訪問してびっくりした。社員一同多めにディスカッションして、一つの作品を総力で完成させていた。また、作品の「テーマ」が問題になる様だが、その年の話題や公共性の物をテーマにし、社員一同で議論して。展示会が終わるとすぐに来年に向けて新たな作品作りの戦いが始まる。本年も頑張っ

山形広美 古川 朝世



青森・エムエムデザイン 對馬 勝氏

この度は、公共キャンペーン作品展において、東北地区連会長賞を頂き、誠にありがとうございます。前回は組合に入って一年目で何もわからず出品し、みごとに選外、今回は、審査基準というものがあつたことを知り、忠実に守って仕上げました。子供が小さな瓶に四、五mmぐらいの「てんとう虫」を入れているのを見て「テーマはこれだ!」と思いつけなかった大きな虫をFRPで浮きだし、背後には赤く焼けた地球をグラフィック用ハンドピースを使って製作しました。「テーマを適切に」「アイデアを新鮮に」「色彩の発色」この三つに重点をおいて、又、文字は檜葉の素材を生かして着色せずに貼り付けたのが良かったのでは?と思っています。コンクール各関係者の方々に深く感謝申し上げます。



岩手・高松工芸 一条八平太氏

岩手県交通安全パネル展に作品をだした時は、時間がなく展示の切り前日の考えで平面な処理だけで出品したのですが案が良かったためか東北六県公共キャンペーンに出品出来る事になり、平面な作品から人体の凹凸など立体的に処理し、板面も艶消しを使用、サブコピーなども加えてみました。全体のレイアウトをもっと考えてもよかったですかと反省しています。



山形・(有)マルケイ工芸社 竹田美樹子氏

この度、昨年に続いて二年連続大臣賞の受賞にスタッフ一同感激致しております。昨年は当社の社長の企画デザインでの受賞でしたが、今回作品を出品するにあたり企画部で全て考えてみようと思いい私達で色々アイデアを出し合いました。特に公共性がテーマである以上作品でのインパクトとストーリー性を重視し制作しました。お陰様で思いもよらぬ大賞を頂き心から厚く御礼致します。今後の地区連のご発展を心からお祈り申し上げます。



「あいさつ」

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長
須賀 政雄

組合員の皆様には新年度を迎えるにあたり、今年こそ良い年でありませう様にと希望をもって迎えられたことと思えます。

昨年はバブル経済の崩壊の重い後遺症の中にあつて、円高是正の展開、超低金利の継続、消費税率引上げに伴う前倒し需要と相まって、景気は緩やかな回復に向かっていると報道されておりますが、私達業界にはその恩恵が少なかつた様な気がします。本年は消費税率のアップ、所得税の特別減税処理の打ち切り、財政支出の抑制などから、先行きには大きな不安感が漂っております。この様な状況下にあつて異業界からの参入、アウトサイダーの台頭により過当競争、価格破壊による収益の低下等業界の前途は多難であると思えます。

従来は看板屋さんと言えは脚立や梯子の上で太い筆をもって店名を揮毫しており、後から子供達に大人も混つて旨いもんだなあーと眺めておつたものです。一人前の看板屋さんになるには何年間も修行して、やっと一人前の字が書ける様になり、お客さんから注文を頂ける様になったものです。現在は半製品の素材を買って来て、カッティングマシンで切抜いたシート文字を貼るだけで看板が出来上がり、看板の作りも文字の上手下手もなく安価であればお客様が納得する時代となりました。異業界からの参入も看板屋さんは荒利が多く儲かる美味しい商売に見えるからだと思います。流通業界に於ける資本力による大量販売と価格破壊は益々激しさを増し、小企業を圧迫し、商店街から小売店を消滅させております。

日広連が業界の保護育成を願つて建設省に働きかけ業者の屈出制を法制化しました。屈出制の前提条件としての講習会の受講は誰でも二日間の講習を受ければ良いので期待した効果はあり

ませんでした。そこで国家認定資格の屋外広告士の資格制度の導入を計りました。この資格は試験を受けて合格しなければ資格は得られません。試験問題も常識的な筆記試験と実技試験の二課題に合格しなければなりません。筆記試験は常識的な設問であり、少し勉強すれば合格点はとれると思ひますが、実技試験は一朝一夕の勉強では合格することは難しいと思ひます。この点が私達業界としてはプラスと思ひます。

異業界からの受験者には大変難しい実技試験となる筈です。この屋外広告士の制度を活用することにより我々業界の発展を計つて行きたいと考えております。本年五月〜九月の間に第二回の屋外広告士登録者の更新講習会を盛岡市で実施致します。有資格者は必ず受講されて資格を継続される様お願い致します。十月には東京で屋外広告士の試験が行われます。受験者の希望があれば本年も事前勉強会を実施し、一人でも多くの合格者が出ることを願つております。

建設大臣賞、日広連賞等のある東北六県公共パネル展は、本年十月盛岡市で開催する予定です。年々優秀な作品の応募があり、私達組合のPRになると共に、社会的地位向上の一助となる事業です。奮つて出品される様お願い致します。

平成八年春の叙勲で福島県広美の長谷川義雄理事長が勲五等瑞宝章を受賞されました。ご本人の多年に渉る業界発展と地域社会に対する貢献が認められた結果であり、本当におめでとうございませう。私達組合員の中からこの様な賞を頂く方が出たことは同業者として大変喜ばしいことでありませう。今後共私達組合の為に指導を賜りますことをお願い致します。これからも私達組合員の中から公的表彰者が一人でも多く出ることを願つております。

異業種からの参入業者、アウトサイダーの業者に負けない業界となる為には情報の交換を密にして組合員が気の合ったグループ、地域グループ等を構成して設備なり機械等を活用し合つて協業経営を実施してコストダウンを計り、経営の健全化を計り、明るい二十一世紀を迎える初年度にしたいと思ひます。

組合員の皆様のご多幸をお祈り致しますと共に、組合運営に格段のご協力をお願い申し上げます。

コンピュータ・デザイン



青森県屋外広告美術業協同組合
理事長 千葉 裕

新しい年を迎えられ、地区連の皆様にはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

当青森県におきましては、例年になく暖冬傾向の日々が続いております。さて、昨今、コンピュータによるデザインワークが非常に普及している事はご周知のとおりです。

そしてそれらの状況をみてみると、例えば広告の世界ではプレゼンテーション作成が主であります。広告として完成した状態に近いものがクライアントに喜ばれるのは当然であり、そのための複雑な修正その他にコンピュータをつかった場合の効率の良さは容易に想像できます。

また、編集・出版分野でのDTP(デスクトップパブリッシング)、つまり商業出版物の印刷前工程(プリプレス)をコンピュータで行うことで高い自由度が得られます。

書体の豊富さ、美しさなどは写植に劣るものの、CM制作における映像合成・アニメーションづくり、建築デザインやインテリアデザインのペースづくり、CAD、さらには建築シミュレー

ションなどなどコンピュータは欠かせない状況にあります。さまざまな工業製品のデザインワークには勿論、ファッション、テキストイルデザインなどでは商品企画用のソフトが開発され生産部門にだけでなく、企画部門にもコンピュータ化が進んでいます。

さて、われわれ屋外広告と大きな係わりをもつのがグラフィックデザインと言われ部分です。グラフィックデザインそのものは本雑誌、パンフレット、チケット、カード、パッケージ、CDジャケット、POPなど範囲が広く、ポスター、看板デザイン、ロゴづくりなどが屋外広告の分野であります。大規模施設における統一サインなどについてもコンピュータがその展開に威力を発揮しております。

現在、屋外広告業界でもかなりの数の方々がコンピュータを使った広告表現をしているのであります。今後、さらにこの関係のハード、ソフトが進展し普及する事でしよう

しかし、考えなければならぬ点も多いのではないと思ひます。当然の事ではありますが、デザインには表現力が要求されます。

基本的にコンピュータがそれを扱う人間の表現力まで補ってくれるわけではありませぬ。形や色、文字などを使ってコミュニケーションする我々の仕事に、我々自身がこれらに対する深い理解、能力、感覚が必要なのはいままでもない事でありませぬ。

コンピュータによるデザインが普及した結果、デザインに活気がなく、個性がなく、感動がない作品があふれ、雑なレイアウト、見にくい処理等、レベルの低い作品がコンピュータから生まれたと現状のデザインを批判する人も多いと聞いております。

デザインを料理に例えた人がおります。デザインの手順が料理のそれと似ている、つまり、「同じ素材によって料理人の腕によって、味が変わる。デザインも同じで同じ素材、道具を

使つてもデザイナーの腕によって出来上がった作品に差ができる」というのです。あたりまえの事ではありますが、忘れられない事です。デザインの優秀はコンピュータ以前の問題が大きく影響する事を銘記し、それぞれの仕事の展開には、基本的な能力研鑽が重要であることを再認識して努力する、そんな一年にしたいと思っております。

私たちが失つたもの



岩手県屋外広告美術業協同組合
理事長 高橋 徳一

住専、HIV、そして特別養護老人ホームをめぐる厚生省の収賄事件が発覚するなど、我が国の堅固な中央官僚機構が大揺に揺れている。

役人だけではない。民間企業でも、リベートという名の金銭が至極当然のように行われているような気がしてならない。

戦後教育の最大の欠陥と言えはそれまでだが、善悪の判断のつかない大人がふえているように思う。

自分自身で善いこと、悪いことの判断がつけられる。どういふことをしたらどういふ結果になるかを自分で予測できるようななくては人間失格と言われども仕方がない。

ところが情けないことに赤ん坊のままだけ大きくなつてしまつた大人が案外と多いように思われる。

なぜこつこつとこつこつとこつこつとのか、原因はたくさんあると思ひますが、その一つに「教」はあるけれども「育」がない。つまり知識ばかり教えて、人間としての正しい生き方を育てなかつた戦後教育(家庭教育、学校教育、社会教育)に問題があると思ひます。また、なんとと言っても、戦後生まれの日本人は、日本民族であるとい

う誇りを捨ててしまつたことにも原因があると思ひます。民族主義とか、民族意識という言葉は、戦後の日本では触れてはならない言葉として扱われてきました。確かに民族主義による紛争が世界各地に火種となつて燻つていることは事実としてあります。

しかしながら、民族そのもの、民族主義そのものを否定することはできないと思ひます。民族意識は絶対に失ふことのできない大切なものであります。この意識がなければ根無し草になつてしまふからです。

私たちは戦争に負けました。いくつもの過ちを犯しました。過去の過ちを正していかなければなりません。民族意識を持つことが、かつての軍国主義に逆戻りすることではないと思ひます。日本民族であるという誇りを捨てずに、しっかりと地に足をつけて生きていく民族にならなければならぬのです。

このことは教育においても非常に大事な問題であると考えています。つまり国としての心樞を従来通り個人中心でいくか、社会中心にするか、民族を中心にしていくか、その心樞のとり方によって進むべき方法にも、自ずから相違があると思ひます。

人間の一生は、自分を探ることから始まります。何のために生まれてきたのか、自分というものは、自分で始めて、自分で終わるものではない。一秒たりとも自分一人だけで生きていくことはできないのです。

戦後生まれの人は、自分というものを大切にしたい。今という時間を大切にしたいとよく申します。挙句の果ては自分さえよければいい。今さえよければいいというようになりませぬ。

しかし、もう一度よく考えて見てほしいのです。今という時が今だけで存在することはないからです。今がそんなに大切ならば、その今を作り出してくれた昨日も大切であるし、明日をどうするかという考えなしに今の生活を守ることはできないと思ひます。

自分だけが大切と自分のことはばかり考えていたのでは、大切にすべき自分

というものがわからなくなるのではな
いでしょうか。自分へのこだわりがな
くなったとき、はじめて本当の自分が
見えると思います。

私たちは一人では生きることができ
ません。地球という星の大自然に抱か
れ、人間社会の一員として生きていま
す。

私には友があり、家族があり、
組織があり、先祖があり、そして日本
民族があるのです。そうした中で自分
が生かされていることを忘れることは
できません。

業界の起伏



秋田県屋外広告美術協同組合
理事長 石黒 征幸

いま、混迷の途をあるいているのは
サイン業界のみでなく、他産業も構
造に迫られており苦難のうえにあるの
ではないでしょうか。

とりわけ屋外広告業界の現状はコン
ピュータ技術の進展、異業種の参入に
よる過当競争、中小企業や、個人商店
からの受注の低下傾向、加えて労働基
準法の改正による週四十時間労働制へ
の移行に伴う生産性の低下等、今後の
見通しは決して予断を許さない状況に
あります。

このような多くの課題をかかえなが
らも、組合の近未来を考えますと、丑
年ではないが、牛歩をもってしてもこ
れを乗り越えて行かねばならないと思
います。

屋外公告士の誕生以来、日広連の懸
案だった「全国屋外公告士会」の設立
されたことに伴い、「屋外公告士」の
役割、業務も明文化され、いま前進し
ようとしています。しかし新しい組織
ができたとは申せ、元より屋外公告業
者の使命感は変わることなく「屋外公
告士」制度一層の充実が図られること
を期とし、ともに屋外公告物の専門知

識の役割を果たし、都市景観の向上を
目指すと共に、「屋外公告士」の価値
観高揚につとめ、更なる屋外公告業の
繁栄を望みたいと思っております。

本県の屋外公告物条例については、
昨年十二月県議会において一部改正が
承認され、四月から施行となりますが、
秋田市内においては中核市移行となり
行政の所管が変更されます。現在わが
業界でも諸問題を抱えているがこれら
を行政側ともコミュニケーションをは
かり、最善の方向に進んでいきたいと
願っております。

交通交流新時代の到来にともない三
月には秋田新幹線の開通、秋には秋田
自動車道の全線開通と全国の高速度交通
網への参入が本格化することから県内
企業にも与える影響も大きいものと思
われる。新幹線の利用により人、物、
イベント等の集客増やし秋田への降客
を招き、訪れた人々へ案内看板、観光
看板で秋田の印象を高め宣伝がもたら
せれば業界への波及効果もあるものと
考えます。

首都圏と秋田を結ぶ新しい扉になれ
ば幸いと思うが。

「文明の発達」はまず教育が先導役
であり、そのあとに公正な政治と、行
政があり最後に産業があるといえます
が、私共はその産業に携わるものであ
るが、産業の発展があつて地域が繁栄
し、政治も、行政も産業も三者が一体
となっていくことが大事な歯車ではな
いかと考えております。

山広美のすがた



山形県屋外広告美術協同組合
前理事長 田中 滋郎

平成九年の新しい年を迎え、よろし
くご指導、ご鞭撻をお願い致します。
顧みますと昨年は国内での景気が低迷
し、景気上昇気運が伸びなく、総選挙
も施行され早く景気回復を願う所です。

山広美は購買事業の収益により会員
相互の親睦を主として、日広連、東北
地区連、単組の事業に基づき活動を行
い、業界が提唱している屋外公告業の
確立に向かって活動をしているしだい
です。

各委員会中心に事業を行い、会員と
の交流を深め、青年部の結束によって
山形県、中小企業団体中央会との友好
を計りながら活動展開中です。

行政指導による広告条例も平成九年
度末に改正まとめとして、屋外公告士
の処遇にも光明の感ありとして期待し
ておりますし、少しでも街並みをきれ
いに願っております。東北地区連、
各県の実例(体)をふまえながら、山
広美としても勉強し組合の意見が若干
なりとも取り入れられる様、行政対策
委員会が活動しております。又、東北
六県パネル展につきましましては、山広美
も大慶に存じているしだいです。東
北地区連会員の皆さんと共に手をたず
さえて、がんばりましょう。

且つて、経験したことのない、長い
トンネルも、この先どのくらい耐えれ
ばよいのか見通しがたない。四月か
ら消費税が5%に、所得税の減税も打
ち切りとなる。今、自動車や住宅等が
駆け込み需要でフル生産、景気の良い
話である。その分だけ四月以降の景気
に不安材料が増えた。

連合が、今年の賃上げを一万三千元
を目標に闘争方針を決めたが、迷惑な
話である。日本の賃金ベースが世界の
最高水準と言った上でこれ以上、上げ
たら且つてアメリカが追いついた道を歩む
ことになる。

すでに、大手企業や、大手に所属す
る準大手企業は、海外に生産拠点を移
している。従属の関係にあった中小零
細企業にとっては企業の存亡に関わる
問題である。要するによく言う空洞化
現象である。政府は、徐々に景気は回
復基調にあるとは言いが、マクロ的な
景気の動向であつて底辺で日本の経済
を支えてきた中小零細企業には恩恵が
ない。日本の零細企業が、独自の技術
を持って企業活動してこそ景気が良く
なる。我々が肌で好景気と感ずるには、
早くてあと数年掛ると思う。

特に、我々の業界は景気不景気に大
きく左右されやすく、経営体質の改善
が必要な時ではないか。組合活動も転
機にきているし、進めかたに方向性が
求められている。組合員の経営形態が
様々であり、いつがいに言えないが、
組合員であるがゆえに、情報の共有化
による安堵感とも言うか意識が希薄
の様気がする。宮城県の場合をみて
もアウトサイダーの数が数倍多く、営
業活動も活発な様に見受けられる。こ
れは取引先との関係も有るだろうが、

縦の情報が少ないだけ、アウトサイダ
ー間で情報の収集が行われ、事業展開に
真剣に取り組んでいる結果と思う。私
は、常々、組合とは自分自身の事業展
開する上で補助的手段の一つであると
考えている。零細企業の多い業界で
は一企業の努力だけでは企業活動にも
限界がある。組合による集団の力を発
揮してこそ、組合たる所以である。況
してや協同組合である、最大限に活用
することが企業発展につながる。印刷
業界は今、危機に直面している。性能
が良く安いカラープリンターが出来た
からだ。印刷屋に印刷を依頼しなくて
も良くなった近年、他業種からサイ
ン業界への参入が急激に増加した。ポ
ーダレス時代と言われて久しいが、我々
の業界とて免れる事は出来ない。業界
という言葉も無くなるかもしれない。
必要と思う。企業は自己の責任に於い
て経営しており、社員の生活を守り、
顧客へのサービスを図り、企業の盛衰
は経営者の経営感覚に全てが掛かって
いるといっている。組合として出来る
ことは限度がある。目標達成の為に
組合を活用するか、利用してこそ組
合員たる所以である。この危機的状況
を乗り越えるために、会員一同知恵と勇
気を結集しよう。

組合活動について



宮城県屋外広告美術協同組合
理事長 高木 義弘

且つて、経験したことのない、長い
トンネルも、この先どのくらい耐えれ
ばよいのか見通しがたない。四月か
ら消費税が5%に、所得税の減税も打
ち切りとなる。今、自動車や住宅等が
駆け込み需要でフル生産、景気の良い
話である。その分だけ四月以降の景気
に不安材料が増えた。

連合が、今年の賃上げを一万三千元
を目標に闘争方針を決めたが、迷惑な
話である。日本の賃金ベースが世界の
最高水準と言った上でこれ以上、上げ
たら且つてアメリカが追いついた道を歩む
ことになる。

すでに、大手企業や、大手に所属す
る準大手企業は、海外に生産拠点を移
している。従属の関係にあった中小零
細企業にとっては企業の存亡に関わる
問題である。要するによく言う空洞化
現象である。政府は、徐々に景気は回
復基調にあるとは言いが、マクロ的な
景気の動向であつて底辺で日本の経済
を支えてきた中小零細企業には恩恵が
ない。日本の零細企業が、独自の技術
を持って企業活動してこそ景気が良く
なる。我々が肌で好景気と感ずるには、
早くてあと数年掛ると思う。

特に、我々の業界は景気不景気に大
きく左右されやすく、経営体質の改善
が必要な時ではないか。組合活動も転
機にきているし、進めかたに方向性が
求められている。組合員の経営形態が
様々であり、いつがいに言えないが、
組合員であるがゆえに、情報の共有化
による安堵感とも言うか意識が希薄
の様気がする。宮城県の場合をみて
もアウトサイダーの数が数倍多く、営
業活動も活発な様に見受けられる。こ
れは取引先との関係も有るだろうが、

縦の情報が少ないだけ、アウトサイダ
ー間で情報の収集が行われ、事業展開に
真剣に取り組んでいる結果と思う。私
は、常々、組合とは自分自身の事業展
開する上で補助的手段の一つであると
考えている。零細企業の多い業界で
は一企業の努力だけでは企業活動にも
限界がある。組合による集団の力を発
揮してこそ、組合たる所以である。況
してや協同組合である、最大限に活用
することが企業発展につながる。印刷
業界は今、危機に直面している。性能
が良く安いカラープリンターが出来た
からだ。印刷屋に印刷を依頼しなくて
も良くなった近年、他業種からサイ
ン業界への参入が急激に増加した。ポ
ーダレス時代と言われて久しいが、我々
の業界とて免れる事は出来ない。業界
という言葉も無くなるかもしれない。
必要と思う。企業は自己の責任に於い
て経営しており、社員の生活を守り、
顧客へのサービスを図り、企業の盛衰
は経営者の経営感覚に全てが掛かって
いるといっている。組合として出来る
ことは限度がある。目標達成の為に
組合を活用するか、利用してこそ組
合員たる所以である。この危機的状況
を乗り越えるために、会員一同知恵と勇
気を結集しよう。

年頭所感



福島県屋外広告美術協同組合
前理事長 長谷川 義雄

新春を迎え、東北地区連のご活躍、
皆様のご繁栄、ご健勝をご祈念申し上
げます。

さて、昨年は景気回復も思うに任せ
ず、また、今年も悪材料が多く先行き
暗雲が漂い、中でも技術革新の波は待っ
たなしに迫り、誠に深刻なものがあり
ます。このような環境にあって福広美
は、事業参加率の向上、委員会活動の

佐 渡 新潟・弥彦

参加しよう

第39回 日広連全国大会

平成9年6月11日(水)新潟市万代5-11-20「ホテル新潟」

活性化を目標に営々努力した結果、計
画のすべてを消化することができ、近
年になり充実した一年であったように
思います。心より御礼申し上げます。

また、現在、雇用促進事業団の力強
いご支援により昨年から進めて参りま
した人材高度化支援事業の指定を受け
るべく、人材高度化特別委員会を結成
し対処しておるところでございます。

幸いにしてこの指定を受けることがで
きれば、三年間を限度に物心両面に亘
る大型援助により、自称「福広美屋外
広告短期大学」を開校し、真の知識、
技術、技能を習得いたし、知的武装集
団として新時代を見据えた個々企業の
体質改善に努めることが生き残れる唯
一の方策と位置付け、組織の総力を挙
げて参る所存であります。

幸い長い間の懸案でありました青年
部の誕生を見ることができ、この若き
エネルギーを背景に幾多の障害を乗り越
え、組織の活性化を図り、「うつく
しま ふくしま」「いいサイン きっ
といい街 いい出会い」をターゲット
に優れた広告物の掲出に努め、屋外公
告の存在を一層高めて参ります。

どうぞ東北地区連の一層のご支援、
ご協力をお願いしまして年頭のご挨拶、
抱負と致します。



H 8. 10. 13 第20回親善レクリエーション大会(ボウリング) 110名参加

東北のつわものたち③



余暇はアウトドアで楽しく「ファミリーキャンプ」
山形 佐藤 健一さん

佐藤健一さんが、初めてテントを張ってキャンプをしたのは、結婚した頃。奥様の真理さんと二人でした。浩和君(小六)と香織ちゃん(小四)が生まれてからは、家族四人でオートキャンプを楽しんできました。オートキャンプは自動車を使ったキャンプ旅行のこと。「子供が小さかった時は、テントを広げても寒いので、車に泊まるのがいいな」と思っていた。そのためワゴン車を買いました。佐藤さんにとって、キャンプはいつも家族中心、子供中心です。現在は奥さんの真理さんと力を合わせて、看板製作など、屋外広告美術業で活躍していますが、実家が建築業で、結婚前は大工さんでした。だから車の中に二段ベッドをこしらえて、上に子供達、下に大人と別れて寝られるように工夫するなんてお手のものなんです。

キャンプ地に着いたら、まず車を停められる場所を探し、それからテントをセット、約四十分で装備完了です。佐藤ファミリーのテントは内部が二つの部屋に分かれたツールームテント。「これは雨が降ったときなどは便利。



友達も連れて一緒にキャンプをする時は車のハッチバックを向かい合わせて、タープという大きなシートを張り、屋根を作ります。」

次は組立て式のテーブルを出して、食事のしたく。浩和君と香織ちゃんはそのそれぞれの仕事を決めてお手伝い。「キャンプに行ったら料理はもっぱらお父さんがします。家ではまったくしませんけどね。(笑)」と真理さん。メニューはバーベキューやスパゲティなど、子供たちのリクエストにも応えます。以前は、ポリタンクに電動式の給排水設備を取り付け、手製の流し場や調理台もこしらえて、料理をしたそうです。去年、発電機を買ったので、ご飯は電気釜で炊けるようになったのです。「飯(こう)で子供達に炊かせてるんだけど失敗してませんでした、チャーハン用に、電気釜のご飯を食べたりしています。(笑)」キャンプの楽しみ

の一つは、大人も子供も遊びを工夫すること、健一さんは釣りやビデオ撮影、子供たちはトランプ、親子で海水浴やキャッチボール、サッカーやビーチバレーなどをします。「ふだんは忙しくて一緒に遊べないから、そういう時間は貴重ですね。僕にとってキャンプは家族孝行の意味合いが強いかな」夜は十時就寝。朝は空が明るくなるとすぐ起床して、朝食の準備をします。「象潟は、女房と一緒に初めてキャンプをした思い出の場所だなぁ。」目の前がすぐ海水浴場の象潟町宮キャンプ場は、トイレ、水道、流し場などの施設も完備。近くには商店もあり、買物にも便利です。佐藤ファミリーお気に入りの場所です。毎年八月十四、十五、十六日の三日間は、象潟の花火見物を兼ねてキャンプするのが、一家の定番になりました。「象潟の花火は、頭の上上がるんです。だから、みんな寝て見るの。夏だとアスファルトの上も温まっているから気持ちいいしね。」

キャンプは難しいことじゃないよ、と佐藤さん。「雨になればシートを張ればいいし、子供にとって危険なことも行ってみるとあまりない。要するにいつも女房が家でやっていることを外

塗料・塗装関連資材・機材
看板・プラスチック資材・機材の総合商社

株式会社 光彩塗料商会

代表取締役社長 今野 紳
専務取締役 二階堂 宏信

本社 〒983 仙台市宮城野区東仙台四丁目3番43号
TEL (022)293-3151代 FAX (022)293-3154
多賀城営業所 〒985 多賀城市中央三丁目7番5号
TEL (022)364-2921代 FAX (022)364-2046
福島原町店 〒975 福島県原町市朱来字出口63番の3
TEL (0244)22-2836代 FAX (0244)22-2875

板ガラス・アルミサッシ・プラスチック・各種卸・施工



本社：〒983 仙台市宮城野区扇町5丁目3番38号
(化成品部) TEL 022-284-3085 FAX 022-284-8202
山形支店：〒990 山形市元木2丁目13番24号
TEL 0236-22-0201 FAX 0236-22-0204

サインデザインのためのカラーシステム



〈ノックス・ニー・ゴー・マル・マル〉

デザインから施工まで
トータルにサポート

充実のシステム

便利なツール

情報のご提供



仙台営業所：〒981 仙台市青葉区堤町3-5-23 TEL.022-271-9003 FAX.022-273-2181
本社：〒103 東京都中央区東日本橋3-7-13 TEL.03-3668-8141 FAX.03-3668-8703

看板資材卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

でやるだけ。子供達も、たくさんの家族と一緒にやるから団体行動がうまくなるし、それぞれに役割を与えるから責任感も強くなったようだよ。」これからは、沼のある山や岩場でもキャンプしてみたい、と佐藤さん。象潟や小砂川など秋田県側によく行くのは、海が遠浅で、子供達にも安全だから。でも、本当はもっといろんなところでキャンプしてみたい。オートキャンプで日本全国を回りたい。今一番行きたいのは北海道。「自然がいっぱいなのが魅力ですね。」佐藤さんの地図は、まだまだ広がっていきます。

山広美情報文化委員長
古川 朝世

東北のつわものたち④



青森 新田 勇さん

東北新幹線着工の第一報が青森県境を越えたのは、平成六年十二月のことである。

JR東北本線は、旧国鉄時代から東京〜青森間を東北本線と命名していたが、その朗報を受けたときには、何故か青森でなく、八戸止まりであった。そして昨年の十二月二十五日、クリスマスのプレゼントでもあるまいが、ようやく八戸〜青森間のフル規格延伸の朗報を得た。

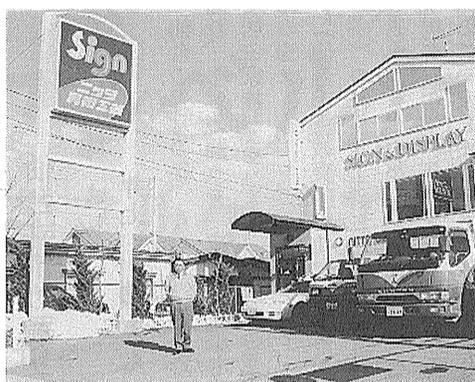
今更の感もなくはないが、一歩前進したことに変わりはない。

話が脱線してしまったが、その八戸市に営業拠点をもって活動しているのが、当組合の副理事長を務める新田勇氏(KKニッタ美術工芸 代表取締役社長)である。

同氏は昭和四十五年、当組合が協同組合として法人格を得た年から組合に加入し、以後五十二年理事に就任、五十六年当組合技能開発委員会副委員長平成四年から同委員長と一貫して技能開発畑に所属している。同氏の技能に関しては、平成八年十一月「青森県卓越技能者」として、県

知事表彰を受けていることから、今更私から説明するまでもないが、職業訓練指導員免許はもとよりのこと、広告美術一級技能士のすべての資格を有し、その作業に精通しているほか、コンピュータカラープリントによるパナグラフィクスに着目し、その取組み意欲には並々ならぬものがある。

また、同氏は技能開発委員長としての立場から、技能士の育成に努め、多くの一級・二級資格者を本県から輩出しているほか、東北公共パネル展・技能グランプリへの勧誘等、常に後進の



指導育成にも意を用いている。

家族は四人昭和四十一年三月三日が結婚記念日とか、その「桃の節句」にあやかっただのか、文字通りおひな様のような奥さんめとり、会社の経理一切を任せている。

長男は、次世代の後継者として、自社において社長の叱咤激励のもとに修行中であり、また、その下のかわいい女の子も八戸短期大学に在学中で、これまた学業と並行して花嫁修業中とのこと、全く日本の家族の縮図を見ているような気がしてならない。

社長の趣味?はと聞くと、登山・スキー・社交ダンスと写真等々これまた多く、いつ会社経営に専念しているのか、わからない程の多趣味振りである。

今、八戸市は国から「FAZ」(Foreign Access Zone)つまり「輸入促進地域」に八戸港が指定され、先に指定を受けている「新産業都市」と東北新幹線乗り入れ

を考え合わせると、近い将来県都青森市に追い付き、青森県第一の都市になるだろうと予測されている。

青広美八戸支部は、これらの背景のもとに新田副理事長を軸に、その基礎造りに専念しており、限りなき発展の可能性を秘めた支部でもある。

青広美情報文化委員長
国分 薫

東北のつわものたち⑤



鳥人間 磯川 廣昭さん

私共業界には多種多様な趣味を持つ趣味を興じて本業のようになさっている方々も少なくありません。そんな中でチョット普通の方には真似の出来ない趣味の持ち主がいる。福広美会津支部会員で野口英世の生誕の地、猪苗代町に住まいを構えておいでになる南陽堂看板店のオーナー磯川廣昭氏その人である。彼は、茨城県や千葉県まで足を運びスカイダイビングなるものに興じている。小型飛行機で旋回をしながら、高度四、〇〇〇メートル迄上り、その地点より地上に向けてジャンプをし、時速二〇〇キロメートルで落下し、雲海を突っ切り、風圧を身体全体に受け、地上の目標に向かって空を駆け、将に六〇秒間の鳥人になりきる事が出来ると言う。四、〇〇〇メートルよりジャンプし、三、〇〇〇メートルを一気に降下、パラシュートオープンは高度一、〇〇〇メートル地点だそうである。

このパラシュートなるものは、自分で操作しオープンさせない事には、永久にあの世行きだそうである。スカイダイビングする度に、毎回同じ降下ばかりとは限らずやはり、風圧を受けバランスを崩すと大変な事になり、勝手に身体が振り回され、收拾がつかなくなる位になった事も何度かあったそうである。それとても空中の事、誰も助けに来てくれる人もなく、自分でバランスを取り戻さなくてはならない。その



間の判断は数秒とはかかっては居られないのが現実だそうである。私達、常人から見れば何もわざわざ、よその県迄足を伸ばし、高い飛行機の窓から、『とび降りることなかっぺ』あぶねごとすっことなかんべ』と思うのだが、磯川氏にすれば地上のあれや、これやの事をすっかり忘れさせ高度四、〇〇〇メートルから見れば、なんの総べてが小さい、小さいとはストレス解消にもつながると云々、ウンチクある話をしながら高笑いをする。彼はやはり、福広美きっての地球を丸呑みにする大人物である。常人の我々にとっては、こんなにあぶねごとくわばら、くわばら。

福広美情報文化委員長
黒澤 功

東北のつわものたち⑥

岩手の大もの



岩手 長嶋 勝敏さん

岩手には技能グランプリ最高賞の労働大臣賞受賞者が二人いる。今回は最初に受賞した長嶋勝敏さんを岩手日報

— メタルサイン総合メーカー —

Sign Communication

株式会社 オガワ



仙台営業所
〒984 仙台市若林区伊在字東通46
TEL 022・288・2312 FAX 022・288・0051

工場
〒731-33 広島市安佐北区安佐町毛木535
TEL 082・837・1010 FAX 082・837・0770 建設業登録(般-5)15879号

事業所

本社:〒731-33 広島市安佐北区安佐町毛木535 TEL 082・837・1010 FAX 082・837・0770
仙台営業所:〒984 仙台市若林区伊在字東通46 TEL 022・288・2312 FAX 022・288・0051
東京営業所:〒110 東京都台東区上野3-22-3 TEL 03・3839・1181 FAX 03・3834・8691
名古屋営業所:〒455 名古屋市港区知多2-1302 TEL 052・301・2870 FAX 052・301・3240
神戸営業所:〒651-21 神戸市西区池上4-15-1 TEL 078・976・1030 FAX 078・976・1033

“好評発売中”

超ワイドフルカラー出力機(屋外用)

RJ-1300V2 (1362mm幅作画)

RJ-1800 (1830mm幅作画)

特長

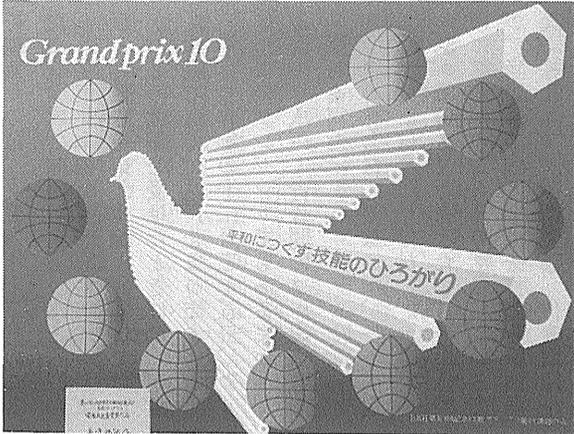
新技術による顔料系インク(マイクロカプセル化)で、作画時の横筋(バンディング)の解消、目詰まりの改善、発色性と立体感を実現しました。

東北ミノグループ株式会社

仙台市宮城野区扇町7-2-38

TEL 022-259-0511(代)
FAX 022-259-4154

紙に掲載されたものから紹介したい。正式には一級技能士全国技能競技会広告美術職種というものである。「自信作ではなかった。他の参加者が作業を終え筆を洗っているのに、自分の作品は完成途中でとても焦った。周囲も『あの人は間に合わない』と思ったのではないだろうか。」



「第一回大会に出場した時は、技術を競うものだと思っていたが、ただ仕上がりがきれいなだけでは印象が薄い。それで今回はインパクトの強いものを狙った。人の考えつかないことをやって印象づけるのが看板屋の仕事ですから」

実は今回、県技能士会などから出場を打診された際、一度は年齢を理由に断った。「視力が落ちると細かい仕事に難しい。勘でかいているようなものだ」ところが、出場してみると約三十人の参加の中に六十二歳の人がいて「自分もチャレンジ意欲をかきたてられた」という。

よかったと思った「くらいで本業の看板でも顧客とやり取りする煩わしさを避け、下請けに専念。直接発注されると断わってしまうこともあるが「周囲のおかげで仕事が切れたことはありません」と感謝している。

敗戦直前の昭和二十年七月、旧満洲から両親の古里・盛岡へ移った。子供のころから絵と釣りが好きで「中学卒業後、本来なら上京でもして看板屋の修業するのだからが、店主が釣り好きだった盛岡市内の看板店に弟子入りした。今はあと何年仕事ができるかより、何年釣りができるかの方が関心事」と温和な口調でマイペースを強調する。

岩広美情報文化委員 鎌田昌孝

東北のつわものたち⑦

仙台すずめ踊り



宮城 井上 潤さん

仙台の五月の祭、青葉まつりを彩る踊り、すずめ踊りを一家五人で楽しんで居る家族があります。宮広美の北支部の(向)ストリートデザイン・ジュエ・ティン(仙台市宮城野区東仙台一丁目二二)の社長井上潤さん(四十五)。

妻きよ子さん・長男重創君専門学校生・次男楽君中学一年生・三男響君幼稚園児のご一家です。潤さんは九年前に、すずめ踊りのお囃子を始めました。その後重創君、楽君、響君も大太鼓、小太鼓を始め、楽君、響君は踊りも担当する様になりました。妻きよ子さんも練習の付き添いをしてる内に刺激されて踊りを始め、数年前には、すずめ踊り普及会・指導員の試験にも見事合格しました。楽君、響君は青葉祭の小雀大賞にも出場して可愛い踊りを披露し大きな拍手を送られました。潤さんは平成七年十月には京都で開かれた、京都まつりでも都大路に軽快な太鼓を響かせました。また一九九六年九月四



日よりアメリカ合衆国テキサス州ダラス市ほかフォートワース市・ヒューストン市・オースチン市などを主会場として開催された全米過去最大規模の日本紹介フェスティバル「サン&スター一九九六」が執り行われましたが、仙台市民訪問団の一員として一家で参加し、九月六日ダラス美術館でのセレモニー、九月七日、八日両日はノースパークセンターにて、子供すずめ踊り三十人と共に、仙台すずめ踊りを五回公演し、仙台・ダラス両市民の交流と理解を促進して来しました。

宮広美情報文化委員長 泉 悦夫

東北のつわものたち⑧



秋田 小林 隆三さん

秋広美より紹介するのは、県北能代で看板店を営んでいます小林隆三氏(六十五)である。昭和一桁生まれの氏は、我業界では、ベテラン中のベテランである。

氏にすごいのは未だ衰えぬ創作意欲と腕だ。我々も見習うべき所が大いにあると思う。特に商業デザインには敬服する。近年では、秋田県美術展覧会、デザイン部門特撰二回、奨励賞入選など県民芸術祭招待出品等ではすばらしい経歴の持ち主である。



写真は去年のキャンペーン出品作。秋広美情報文化委員長 根田 堅三郎

東北地区屋外広告美術業組合連合会 情報文化委員会・機関紙「東北」編集委員会

- 委員長 鎌田 昌孝(岩手広美)
- 委員 国分 薫(青森広美)
- 委員 根田堅三郎(秋田広美)
- 委員 古川 朝世(山形広美)
- 委員 泉 悦夫(宮城広美)
- 委員 黒沢 功(福島広美)

NiP corporation

株式会社 **ニップコーポレーション**

本社 〒171 東京都豊島区南池袋2-29-19
TEL (03) 5952-5501 FAX (03) 5952-1051

仙台営業所 〒984 仙台市若林区大和町3-4-20
TEL (022) 232-7411 FAX (022) 238-0271

青森営業所 〒038 青森市沖館4-7-51
TEL (0177) 82-1331 FAX (0177) 81-4091

秋田営業所 〒010 秋田市川尻大川町3-23
TEL (0188) 65-6731 FAX (0188) 65-6732

盛岡営業所 〒020 盛岡市中野1-24-13
TEL (019) 623-1901 FAX (019) 623-1913

そうね、光のことなら やっぱり...

ネオンサイン プラスティックサイン **電気材料総合卸**

曾根電材株式会社 〒983 仙台市宮城野区鶴ヶ谷字京原137
TEL(022)251-4251代 FAX(022)251-4255

老舗とは、一流の資材を使う
格式のことを言うらしい。

代表取締役 **奥田 新人**

株式会社 **デジット** 東京 〒108 東京都港区高輪3丁目25番27-412号 ☎(03)3444-0131代
大阪 〒980 大阪府松原市三宅中7丁目9番7号 ☎(0723)36-0301代
福岡 〒830 福岡県久留米市西町945 ☎(0120)36-0301代